

妊よう性温存治療への費用助成が実現しました

血液がんや、がんの治療過程において、不妊という副作用が伴うことがあります。令和元年9月定例会の個人質問において、本市の妊よう性温存治療費の補助制度を確立し、令和2年11月には、厚生労働大臣へ陳情に赴きました。その結果、**国の制度においても助成制度を確立**する運びとなりました。



「妊よう性温存」とは

がん治療によって将来妊娠の可能性が消失しないように、生殖機能を事前に温存する考え方のこと。

コロナ禍におけるひとり親世帯への再給付

私が所属する超党派の議員連盟「ひとり親家庭支援のためのネットワーク」において、国に対してコロナ禍におけるひとり親家庭臨時特別給付金の再給付を要望してまいりました。その後政府は、今年度の補正予算の予備費を活用し、**子ども1人あたり最大5万円の給付金を追加で支給する方針を固めました**。その他にも、子どもの学習支援事業の予算増額を実施することや、オンライン学習環境への支援、コロナ禍における子どもの預け先など、当事者団体の皆さまと共に要望をしてまいりました。

現役大学生による、完全無料のボランティア塾 「子供じゅく IN SALMA」のご案内

現役大学生による無料授業を毎月第2、4土曜日に開催しています(1部:13:30~15:00、2部:15:30~17:00)。全ての教科に個別対応してくれますので、宿題や教科書を持参してください。ひび事務所が会場となる日もありますので、ご興味のある方はお気軽にひび事務所までお問い合わせください。

プロフィール 昭和60年生まれの36歳。保育園に通う4歳の息子の育児と仕事に、日々奮闘中。
モットーは「困難に直面した時や、辛い時こそ笑顔」。

ひび美咲事務所 平日 午前10時~午後5時まで

〒465-0025 名古屋市名東区上社1-402 柴昭ビル1E

TEL: 052-777-3193 FAX: 052-777-7330

Email hibikenoffice@hibiken.com

<https://www.facebook.com/hibi.misaki/> <https://www.instagram.com/misaki.hibi/>

旧年中は、皆さまよりご支援ご協力を賜り厚く御礼申し上げます。
新型コロナウイルス感染症が蔓延し始め早一年が経過しようとしています。
この間、名古屋市政においても様々な施策や支援策が始まりましたが、市民の皆さまからの不安や疑問の声は途切れることはありません。
一つひとつの声に真摯に向き合い、私自身も学ぶことが多い令和二年でございました。
まだまだ課題は山積していますが、本年もこれまで以上に声や想いに応えられるよう、地道に精進してまいります。

名古屋市議員
ひび美咲

名古屋市議員

ひび美咲

総務環境委員会委員

大都市制度・広域連携促進特別委員会 副委員長

議会運営委員会委員

名古屋民主市会議員団 市政報告書

2021年 新春号



名古屋市政ニュース

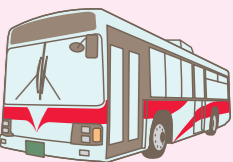
コロナ24時間電話相談

名古屋市では、コロナ感染が疑われる人の専用電話相談窓口「受診・相談センター」を開設しています。発熱等の症状があり、かかりつけ医を持たずに相談先がわからない方は下記までお電話ください。

☎052(249)3703 <24時間受付>

敬老パス、名鉄バスもOKに!

令和4年2月から予定されている敬老パスのさらなる利用拡大。JR・名鉄・近鉄の各鉄道に加え、名鉄バスと三重交通バス(予定)も利用可能となります。ただし名古屋市内で乗車、降車する場合に限りです。



小・中学生にタブレット端末を配備

令和3年6月完了を目処に、市内の小・中学生約16万人に情報端末がひとり1台ずつ配備されます。当初の予定より前倒しで、計画が進められることとなりました。



トワイライト「ルーム」への移行前倒し

小学生の放課後の居場所である「トワイライトスクール」より1時間預かり時間の長い「トワイライトルーム」への移行計画を、1年前倒しで令和4年までに実施する見込みです(11箇所)。新型コロナウイルス禍での働き方の変化を踏まえた対応です。



議会だより

ひび美咲の市政活動報告です。9月と11月の本会議における個人質問と市の答弁より、それぞれ要点を抜粋してご報告いたします。



9月定例会

コロナ禍における高齢者の介護予防について

ひび美咲 コロナ禍で外出自粛が長引いたことで、高齢者の体力低下など二次的な影響が懸念されている。特に心身機能の低下によるフレイル(※)の進行が危惧される。(※元気な状態と要介護の中間の状態をいう。)ウイズコロナ時代を見据えて、増加が見込まれる要介護者をどう減らしていくのが課題だ。

- ① コロナ禍で高齢者の心身機能の低下がみられる方への介護予防の取り組みをどのように進めていくのか。
- ② 「はつらつ長寿プランなごや2023」の策定にあたって、コロナの影響による介護予防の取り組みをどのように展開していくのか。



健康福祉局長 ① 本市独自の介護予防サービスであるミニデイ型の通所サービス、運動型の通所サービスの利用実績を上げるための告知や、各自で把握できるフレイルチェックリストを高齢者世帯に送付することを検討している。

② 心身機能の低下が見られる方を早期に発見し、サービスの利用につなげることを課題として、介護予防サービスの利用促進のための効果的な広報・啓発に取り組んでいく。

スクールサポートスタッフの全校配置について

ひび美咲 学校生活はコロナ禍で状況が一変している。教員がより一層、児童生徒の健康や心のケアに重点をおき、子どもと向き合うことができるようにすべきだと思う。

① 来年度以降もスクール・サポート・スタッフの全校配置を継続することが不可欠だと考えるが所見を伺いたい。



教育長 ① 教員の負担軽減を図るため、本年4月から市内33校の小中学校にスクール・サポート・スタッフを配置した。現場からの声で、教員の負担軽減に一定の効果があると改めて認識している。人員確保が課題だが、一層の配置拡大に努めていく。

行政手続きが押印不要に!

名古屋市の市役所や区役所でこれまで「はんこ」が必要だった行政手続きの大半が、押印不要となりました。

※厳格に本人確認をする必要がある市営住宅の申し込みや金融機関が印鑑を求めるケースを除く。

11月定例会

本市のデジタルトランスフォーメーション(DX)について

ひび美咲 行政のオンライン化もしくり、DXは、医療・働き方・まちづくり・災害対策など、さまざまな分野の課題解決に資するものになる。

- ① 名古屋市としてこうしたDXを手段とした抜本的な変革が必要だと考えるが、まずは市民サービスの向上に必要な「行政手続きのオンライン化」についての考えを伺いたい。
- ② 本市のDXを推進していくために必要なICT人材の確保についての対応は?



DXとは・・・

「デジタル技術を活用して、新しい変革を起こすこと」を意味し、企業がデータやデジタル技術を活用して組織やビジネスモデルを変革し続け、価値提供の方法を抜本的に変えること。

総務局長

- ① 行政手続きのオンライン化を、強力に推進していく。市民が自宅から申請手続きを行える「電子申請システム」を、令和3年度中に導入できるよう検討を進める。
- ② 専門的なスキルを持った人材を、令和4年4月採用に向けて募集開始できるよう検討していく。

コロナ禍における新たな中小企業支援について

ひび美咲

これまで本市においても中小企業に対して融資制度や応援金、補助金等の支援が実施されているが、これらの制度から外れている事業者も依然多い。

① 中小企業への新たな支援策の検討にあたり、これまでのセーフティネットから外れている事業者への支援についても行うべきだと考えるが、所見を伺いたい。

経済局長

① 状況を的確に把握し、周知や利用しやすい制度であるかという点にも配慮し、今後の施策検討にあたっていく。

災害時における要配慮者支援について(福祉避難所)

ひび美咲

福祉避難所について、本市は5000人の避難スペースを確保している状況ではあるが、コロナ禍においては密を防ぐために受け入れ人数が大幅に減少することが想定される。また、指定された福祉避難所には「被災時の備蓄品の支給がないため不安だ」という声があがっている。

- ① 本市における「拠点的な福祉避難所」は129箇所。横浜市では548箇所あり、他都市と比較すると圧倒的に少ない。これについての認識を伺いたい。
- ② 協定を結んだ避難所に関して、想定した人数分を備蓄してもらうようにすべきだと考えるが、どうか。

健康福祉局長

- ① 福祉避難所が少ないことは認識している。施設数を増やすための取り組みを継続していく。
- ② 現状は、必要に応じて区役所の手配により提供することになっているが、関係機関の意見を聞きながら、可能な場合には施設に備蓄してもらえよう検討していく。